



## 2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年10月6日

上場会社名 株式会社ハイデイ日高 上場取引所 東  
コード番号 7611 URL <https://www.hiday.co.jp/ir/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青野 敬成  
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 石田 淳 TEL 048-644-8030  
四半期報告書提出予定日 2023年10月13日 配当支払開始予定日 2023年11月7日  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年2月期第2四半期の業績（2023年3月1日～2023年8月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	23,796	35.2	2,402	—	2,555	56.1	1,730	67.5
2023年2月期第2四半期	17,606	54.5	△195	—	1,637	—	1,033	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	45.57	—
2023年2月期第2四半期	27.20	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第2四半期	31,346	24,247	77.4
2023年2月期	29,181	22,974	78.7

(参考) 自己資本 2024年2月期第2四半期 24,247百万円 2023年2月期 22,974百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	12.00	—	12.00	24.00
2024年2月期	—	17.00	—	—	—
2024年2月期（予想）	—	—	—	12.00	29.00

(注) 2024年2月期第2四半期期末配当金の内訳 普通配当12円00銭 創業50周年記念配当5円00銭

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年2月期の業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	23.1	4,150	574.0	4,300	74.0	2,900	90.9	76.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期2Q	38,147,116株	2023年2月期	38,147,116株
② 期末自己株式数	2024年2月期2Q	173,351株	2023年2月期	170,278株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期2Q	37,974,645株	2023年2月期2Q	37,977,773株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

2023年10月18日（水）16時より機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。説明資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
第2四半期累計期間 .....	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(表示方法の変更) .....	8
3. 補足情報 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に移行したことにより社会経済活動の正常化が一段と進展し、個人消費などの内需が幅広い分野で持ち直し、緩やかな回復傾向にあります。一方で、為替相場の円安、原材料価格やエネルギー価格の高騰、物価上昇に伴う消費マインドの冷え込みが懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、人流の回復に加えて、コロナ禍前以来となる各種催事の復活などによりご来店客数は着実に回復傾向にあるものの、コロナ禍での生活習慣や行動様式の変化、食材価格や人手不足による人件費関連コストの上昇等、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の中ではありますが、当社は「美味しい料理を真心込めて提供します」を経営理念とし、「お客様に美味しい料理を低価格で提供し、ハッピーな一日(ハイデイ)を過ごしていただく」、このことを基本姿勢とし、より多くのお客様に美味しい料理を提供させていただくことに注力いたしました。引き続き、首都圏600店舗体制に向けて安定的な新規出店、サービス水準のさらなる向上、新商品の投入、積極的な販売施策などを推進し、業容拡大を図ってまいります。

当第2四半期累計期間における主な取り組みについて、2024年2月期からの3年間を対象とした中期経営計画「Hiday 500」達成に向けた6つの重点施策、①店舗戦略、②採用の強化・人材育成、③DX推進戦略、④事業拡大・新商品開発・販路戦略、⑤ブランディングの強化、⑥サステナビリティの取組推進に基づいて説明いたします。

#### 〈中期経営計画「Hiday 500」の重点施策〉

##### ①店舗戦略

新規出店を進めるとともに利益の確保が困難な不採算店を退店して、スクラップアンドビルドを推進することで収益率の向上を図っております。

新規出店は10店舗(東京都3店舗、神奈川県3店舗、埼玉県2店舗、千葉県1店舗、茨城県1店舗)、退店が7店舗となりましたので、8月末の直営店舗数は443店舗となりました。業態別店舗数は、「日高屋」(来来軒含む)が410店舗、「焼鳥日高」(大衆酒場日高含む)26店舗、その他業態が7店舗となりました。新規出店した10店舗のうち、ロードサイド店が4店舗を占めています。ロードサイド店は幅広いお客様層が対象となり、ほかのエリアから車でご来店可能なことから商圈を大きく確保できる特徴があり、4店舗ともに好調な立ち上がりとなりました。

##### ②採用の強化・人材育成

従業員の成長と活躍を支え、生き活きと働ける環境を充実させて、生活をより豊かにする処遇の実現に取り組んでいます。

採用の強化に向けて、企業ブランド向上と採用領域の拡大を企図しホームページ/採用サイトをリニューアルしました。ロールモデル、仕事内容、福利厚生を紹介など、当社の魅力とさまざまな情報を提供しています。人材育成につきましては、研修施設を拡充して、正社員・フレンド社員の調理・接客の技術向上を図るため教育研修の機会を増やしました。処遇面では、2023年4月に正社員を対象として5%弱のベースアップ、新卒初任給の引き上げを実施して、従業員のロイヤリティ・モチベーションの向上を図っています。

##### ③DX推進戦略

もっと便利に、ご来店いただくことが楽しい店舗運営の実現に向けて取り組んでおります。

お客様の利便性向上、店舗オペレーションの効率化・生産性向上に向けてタッチパネル式オーダーシステムの導入・切り替えを推進、8月末で164店舗に拡充しました。配膳ロボットはロードサイド店を中心に24店舗で導入しており、新店の大型店舗は配膳ロボット導入を視野に入れたレイアウトを採用しています。販売促進面では、ポイントサービスの拡充と各種キャンペーンを随時実施するとともに、コード決済の種類も拡大することで利便性を高めています。

##### ④事業拡大・新商品開発・販路戦略

お客様の多様なニーズにお応えするため、新業態開発・育成、新商品開発、販売チャネルを拡充しています。

新業態開発・育成では7月に「台湾屋台料理 台南」2号店を東京都に出店して業態確立を目指しております。商品面では、6月に季節メニュー「冷麺」を投入したほか、7月より生ビールを割引価格で提供するキャンペーン「生ビール祭」を実施、ご好評のため9月末まで期間を延長しました。

##### ⑤ブランディングの強化

積極的な広報活動や提携先と連携したキャンペーンに取り組み、店舗以外の場所で「日高屋」に接する機会を増やしています。

テレビCM、SNS、動画サイト、ホームページなど、多様なコンテンツを活用して、新商品やお得なキャンペーンなどを継続的に紹介・発信、お客様に楽しい食事を想起していただけるよう活動しております。当社監修の商

品として、5月にカップ麺、8月にサンドイッチがそれぞれコンビニエンスストアや量販店で発売され、店舗以外の場所で「日高屋」ブランドを訴求いたしました。

#### ⑥サステナビリティの取組推進

次世代へとつなげて行くために地球にやさしい店作り、地域コミュニティに密着した社会インフラとして地域活性化に貢献するため推進中です。

7月には、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)の提言に賛同を表明し、賛同企業や金融機関が議論する場であるTCFDコンソーシアムに参画しました。同提言に基づき事業活動に影響を及ぼす気候変動のリスクと機会について、7月に情報開示いたしました。中期的な取り組みとして、2030年度にはCO2の排出量を2018年度よりも30%削減する目標です。今後もESG経営にもとづいた施策を店舗、工場、本社で実施してまいります。

上記施策の推進に加えて、3月に実施した価格改定後もご来店客数が伸長しご利用単価も上昇したこと、創業50周年記念感謝祭の実施、コロナ禍で短縮した営業時間の延長に取り組んだことなどが奏功し、当第2四半期累計期間における売上高は237億96百万円(前年同四半期比35.2%増)となりました。各月の売上高は、それぞれ同月比で過去最高額を記録し、第2四半期累計期間としても過去最高額となりました。

生産、原価面につきましては、小麦粉、豚肉、米等の各種食材購入価格上昇もありましたが、増収効果により原価率は27.8%(前年同四半期は28.2%)になりました。

販売費及び一般管理費も増収効果によってフレンド社員の増員・時給アップに伴う人件費の増加や水道光熱費などのコスト上昇分を吸収して62.1%(前年同四半期は72.9%)に低減しました。

この結果、利益面では、営業利益は24億2百万円(前年同四半期営業損失1億95百万円)、経常利益は25億55百万円(前年同四半期比56.1%増)、四半期純利益は17億30百万円(前年同四半期比67.5%増)となりました。

なお、飲食店チェーン関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は313億46百万円となり、前期末に比べ21億64百万円増加しました。主な要因は、前期末に比べ流動資産の現金及び預金の増加15億71百万円、売掛金の増加2億75百万円等によるものです。

負債合計は70億98百万円となり前期末に比べ8億91百万円増加しました。これは主に未払法人税等の増加6億63百万円、買掛金の増加2億2百万円等によるものです。

純資産合計は、242億47百万円となり前期末に比べ12億73百万円増加しました。これは四半期純利益の計上等によるものです。この結果、自己資本比率は77.4%(前期末78.7%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期通期業績予想については、2023年8月21日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想から変更はございません。

今後もお客様においしい料理を快適に楽しんでいただける空間を提供するため、店舗と人財への投資を積極的に実施してまいります。

新規出店は第3四半期期間中に4店舗を計画、既存店の改装・リニューアルも計画しております。

人財採用につきましては、リニューアルしたホームページ/採用サイトをさらに強化して、外国人採用に向けたページも設置する計画です。人財育成につきましては、研修施設を活用した調理研修、座学研修、社内eラーニングの充実とともに、資格制度をブラッシュアップして社員の調理・接客向上により一層取り組んでまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,277,386	11,848,984
売上預け金	133,294	146,671
売掛金	1,121,348	1,396,659
店舗食材	196,425	217,388
原材料及び貯蔵品	41,754	51,629
その他	522,940	523,164
流動資産合計	12,293,149	14,184,499
固定資産		
有形固定資産		
建物	13,483,591	13,755,122
減価償却累計額	△7,261,281	△7,466,161
建物(純額)	6,222,309	6,288,961
構築物	133,476	133,476
減価償却累計額	△108,138	△109,673
構築物(純額)	25,338	23,802
機械及び装置	2,679,489	2,737,404
減価償却累計額	△2,309,023	△2,340,447
機械及び装置(純額)	370,465	396,956
車両運搬具	19,789	19,721
減価償却累計額	△17,297	△16,668
車両運搬具(純額)	2,491	3,053
工具、器具及び備品	2,789,836	2,922,135
減価償却累計額	△2,273,693	△2,285,810
工具、器具及び備品(純額)	516,143	636,324
土地	1,394,502	1,394,502
建設仮勘定	48,652	38,940
有形固定資産合計	8,579,903	8,782,541
無形固定資産	237,703	204,120
投資その他の資産		
投資有価証券	103,418	108,041
敷金及び保証金	4,371,154	4,330,607
長期預金	2,000,000	2,000,000
その他	1,621,544	1,761,699
貸倒引当金	△25,489	△25,369
投資その他の資産合計	8,070,628	8,174,979
固定資産合計	16,888,235	17,161,641
資産合計	29,181,385	31,346,140

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	962,204	1,164,627
未払法人税等	326,791	990,612
賞与引当金	380,942	458,848
その他	2,974,710	2,891,139
流動負債合計	4,644,649	5,505,227
固定負債		
資産除去債務	1,280,292	1,310,717
その他	282,173	282,408
固定負債合計	1,562,465	1,593,125
負債合計	6,207,115	7,098,353
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,625,363	1,625,363
資本剰余金	1,701,684	1,701,684
利益剰余金	19,784,874	21,059,813
自己株式	△169,477	△174,111
株主資本合計	22,942,444	24,212,749
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	31,825	35,036
評価・換算差額等合計	31,825	35,036
純資産合計	22,974,269	24,247,786
負債純資産合計	29,181,385	31,346,140

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
売上高	17,606,635	23,796,480
売上原価	4,959,232	6,610,602
売上総利益	12,647,402	17,185,877
販売費及び一般管理費	12,843,139	14,783,293
営業利益又は営業損失(△)	△195,736	2,402,584
営業外収益		
受取利息	73	53
受取配当金	1,904	1,920
受取賃貸料	1,900	2,890
雇用調整助成金	453,534	65,261
協力金収入	1,263,562	—
受取補償金	39,511	61,137
その他	103,441	47,828
営業外収益合計	1,863,929	179,092
営業外費用		
固定資産除却損	26,187	23,260
その他	4,689	3,356
営業外費用合計	30,876	26,616
経常利益	1,637,316	2,555,060
特別利益		
固定資産受贈益	—	16,940
特別利益合計	—	16,940
特別損失		
減損損失	85,202	14,345
特別損失合計	85,202	14,345
税引前四半期純利益	1,552,113	2,557,654
法人税等	519,043	827,116
四半期純利益	1,033,070	1,730,538

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(表示方法の変更)

前第2四半期累計期間において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「受取補償金」は、金銭的重要性が増したため、当第2四半期累計期間より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期累計期間の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期累計期間の損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた142,952千円は、「受取補償金」39,511千円、「その他」103,441千円として組み替えております。

### 3. 補足情報

#### ①業態別売上高

(単位：千円)

期別 業態区分	前第2四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)			当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)			(参考) 2023年2月期		
	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比
日高屋	404	16,462,401	93.5	410	22,399,286	94.1	405	35,765,150	93.7
焼鳥日高	28	847,563	4.8	26	1,054,767	4.4	27	1,790,753	4.7
その他業態等	10	296,669	1.7	7	342,426	1.4	8	612,379	1.6
計	442	17,606,635	100.0	443	23,796,480	100.0	440	38,168,283	100.0

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2. 各業態の店舗数は、当該期末時点の数値を記載しております。  
 3. 「日高屋」は、「中華食堂日高屋」「来来軒」を含めております。  
 4. 「焼鳥日高」は、「焼鳥日高」「大衆酒場日高」を含めております。  
 5. 「その他業態等」は、「中華一番」、「台湾屋台料理 台南」、「大衆食堂日高」、「中華そば神寄」、「中華食堂真心」、FC向けの売上高等を含めております。

#### ②地域別売上高

(単位：千円)

期別 地域区分	前第2四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)			当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)			(参考) 2023年2月期		
	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比
東京都	208	8,626,510	49.1	203	11,591,901	48.7	207	18,705,018	49.0
埼玉県	108	3,931,908	22.3	109	5,409,714	22.7	107	8,637,763	22.6
神奈川県	71	2,893,484	16.4	71	3,727,857	15.7	68	6,121,487	16.1
千葉県	51	1,996,404	11.3	53	2,724,376	11.4	52	4,313,966	11.3
茨城県	3	103,995	0.6	5	205,787	0.9	4	244,565	0.6
栃木県	1	54,331	0.3	1	68,769	0.3	1	115,447	0.3
群馬県	—	—	—	1	68,072	0.3	1	30,037	0.1
計	442	17,606,635	100.0	443	23,796,480	100.0	440	38,168,283	100.0

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2. 地域別売上高の店舗数は、当該期末時点の数値を記載しております。

#### ③開設店舗及び閉鎖店舗

〔開設店舗〕

- |          |             |              |              |             |
|----------|-------------|--------------|--------------|-------------|
| 1. 篠崎南口店 | 2. 相模原ラクーン店 | 3. 板橋区役所前仲宿店 | 4. 成田ウイング土屋店 | 5. 焼鳥日高東十条店 |
| 6. 古河下山店 | 7. 鴻巣下忍店    | 8. 東大宮3丁目店   | 9. 向ヶ丘遊園南口店  | 10. 瀬谷南口店   |

〔閉鎖店舗〕

- |          |           |              |        |              |
|----------|-----------|--------------|--------|--------------|
| 1. 梅島駅前店 | 2. 本郷3丁目店 | 3. 焼鳥日高亀戸北口店 | 4. 成増店 | 5. 焼鳥日高中井駅前店 |
| 6. 京成立石店 | 7. 巣鴨南口店  |              |        |              |

(注) 店舗名のみは「日高屋」であります。